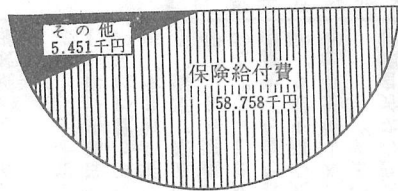
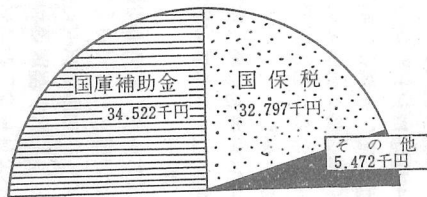


二、特別会計について

国民健康保険特別会計に於ては、受診率の上昇による療養費の増高から相変らず大きな伸びがみられますが、有線放送電話特別会計、老人ホーム特別会計については経常的収支決算となっております。

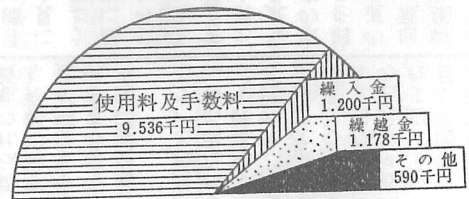
国民健康保険特別会計

歳入決算高	72,791千円
歳出決算高	61,209千円
差引残高	8,582千円



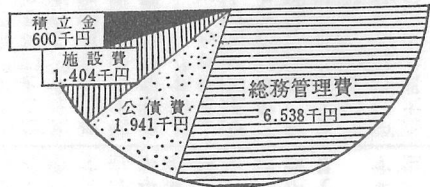
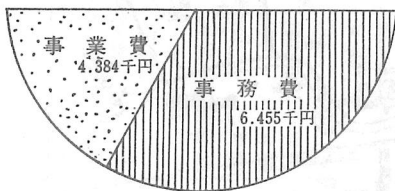
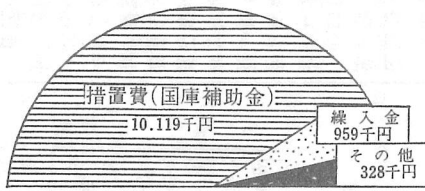
有線放送電話特別会計

歳入決算高	12,504千円
歳出決算高	10,483千円
差引残高	2,021千円



老人ホーム特別会計

歳入決算高	11,406千円
歳出決算高	10,839千円
差引残高	567千円



意見・体験発表

生涯前進

姥山 伊藤 幸子

昨年十一月三日、横芝中学校体育館で開催された青少年のつどい横芝町大会の席上、代表青少年から発表された意見や、体験五題を収録して見ました。いずれの青少年も、様々な環境の中に在って、それぞれに苦しみ、悩み、思索し、無限の可能性を求め、力強く未来に向けて努力している様子がうかがえ、心強く感じられます。

高校卒業後、少なからぬ希望を抱いて、上京を決意していた私に、先輩の反対は冷たく、そのために、「勝手にしろ」といった投げやりの気持ちから、私は何も考えず町のあちこちの商店に働らくことに決めてしまっ

たのです。そこは、仕事がきびしい上、疲れも激しく、また、人のいろいろな批判等があったりして、ともすれば、自分を忘れてしまいうる毎日でした。それでも、このままではいけない、もっと何かをやらなければと、自分に言い聞かせる毎日でした。そして、現在の自分の立場と職業について、しみじみと人生を考へ、将来をみつめ、目標をたてて前進するようになりました。

ものである。毎日地味な、誰も見ていないような仕事であっても、それを大切に、一歩一歩忍耐強く、自己の建設のために進んでゆく人こそ、私は心から尊敬したい」と思っております。また、人間の価値についても「学歴や名誉や地位、財産等を取りのぞいた、その人自身のもつ人間としての実力、人柄、そして常に自己の建設を心がける情熱によって決まるものです」ともいっております。ともすればくじけそうなの私の心に希望あふれる暖かい言葉でありました。先輩がよく「職場の第一入者になりなさい」と激励してくれました。そんな折、奨めてくれる人があって、店員から現在の事務に仕事を交え、事務量はどんどん増え、つらいことも度々、働らくところはどこでも大変だなあと思いましたが、でも前とは違って仕事に一層張り合いを持つことができました。そして自分自身、強く明るく生きていこうと決心しました。これも良き先輩のアドバイスがあったからこそと思ひ感謝していただきます。だから、私も、後輩をいなかへ引きとめるよう努力しています。いなかに使われて生まれてきた人、一人でもいい、その人がいなかに残り、その中から、あらゆる社会を構成する人が出て、明るい町づくりに協力してくれるなら、今までの自分の苦労も消えてしまうような気がします。

新聞テレビで報じているように日本は、国民総生産高世界第二位、国民一人当りの年間所得第二十二位という社会にあって、個人の幸福と社会の繁栄が一致する新社会を建設すべく、青年として悩みぬいていきたいと思ひます。// 青年とは悩みの異名である// とある人がいて、// 悩み多き青年時代が一番成長できるものと思ひます。私は、自分と同じ年代の人より、多少苦労し、悩んできたおかげで、いくらか成長できたと思ひます。これからも人間としての成長を忘れず、前進していきたいと思ひます。